日本貨物鉄道労働組合　中央本部組織部　http://www.jrfu.net/

組織部速報

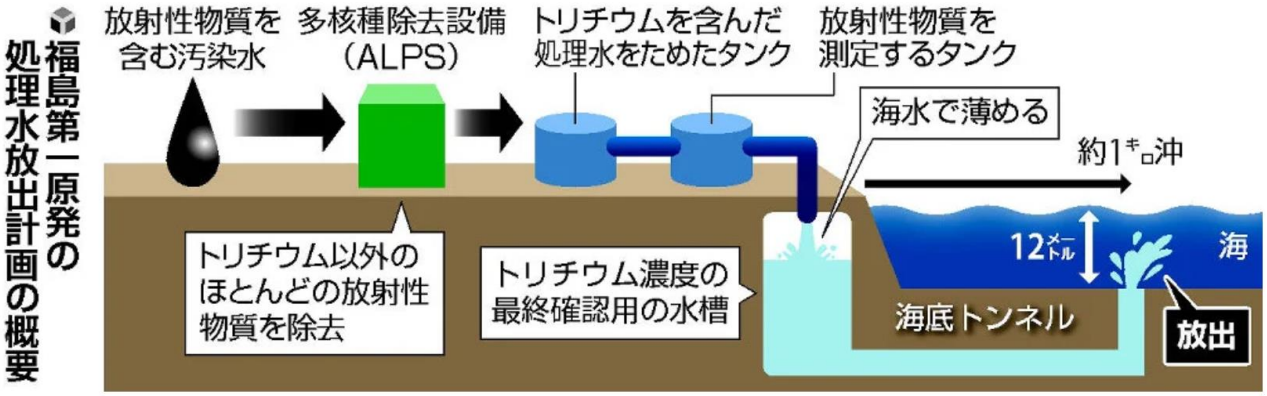
２０２３年８月２３日
Ｎｏ．６

処理水の海洋放出開始

トリチウムは「ほとんど影響がないから問題がない」は詭弁だ！

保管タンクは1000基を超えている

政府は、福島第一原発の敷地内に溜まる処理水の海洋放出を行なうことを決定しました。岸田首相は「地元や国際社会への丁寧な情報発信で幅広い国々から理解を得られた」として、「政府として責任をもって取り組む」とも述べています。政府の言うとおり、処理水が安全であるのであれば、わざわざ“責任を持つ”など強調する必要はないハズです。



風評被害に対しても「国が全責任を持つ」としていますが、海外では放出前から既に海産物の実質的な輸入規制が続いています。政府の補償とは別に東京電力ＨＤも賠償請求を受け付けるとしています。処理水が「安全」であれば手厚い補償は必要ないのではないでしょうか？また、補償金は私たちが支払っている税金や、電気料金から支払われることになるのです。

処理水にはトリチウムの他にストロンチウム90やセシウム137など放射性物質が完全には取り除かれることなく含まれています。大量の海水で薄めたところで放射性物質であることは変わりありません。科学的知見で「安全」を保証されても「安心」は得ることは到底できません。

人間が制御できない原発はNO！脱原発社会の実現を求めます！